

「好きに生きたらいいと思うよ」

橋本 しずく

私は、昔から何でもすぐに飽きてしまう性格でした。だから、きちんと将来の夢というものが決まるまで「アレになりたい、コレになりたい」と色々なものに興味がありました。

そんな私ですが、小学校三年生の時からヒップホップダンスを習い始めました。その時、将来の夢がはっきり決まりました。それは、「ヒップホップダンスのインストラクター」になることです。この夢は、この先ずっと変わることはないと思います。

私が将来、ダンスのインストラクターとして自分らしい素敵な人生を送るために、何が必要で何に取り組んでいけばいいのか。何が正しいのか、その解答は分かりません。もし私が三十歳になってこの問題が出たとしても、私は周りの人たちのような数式みたいなクリアな解答は出来ないと思います。でも、私が生きていて中々気をつけていることや、大切にしていることはたくさんあります。今回は、そのことについて書いていきたいと思います。

まず、私の夢であるダンスのインストラクターになるためには、ダンスのスキルを上げること、ステップを人に分かりやすく上手に説明することの二つが必要になります。この二つの達成のため、私は普段のレッスンでも、習った事を家で確認したり、分からない点を先生に聞くこと、レッスンで先生が説明していることを少し真似てみて、そこからもっと自分なりに分かりやすくまとめてみることを大切に行っています。

そして将来、私が自分らしい素敵な人生を送ることが出来るように気をつけていることがあります。私はまだ15年ぐらいしか生きていないけれど、人生についてたくさん考える機会がありました。そんな中で、やっぱり考えても考えても分からないことはたくさんあります。家族や友達に聞いてみたけど、みんなバラバラの答えで、私にしっくりくるような解答はできませんでした。ずっと一人で悩みながら、昔のことを思い出しました。私と少し持っている世界観が似ていて、「生き方」の見本のような人が、「人生」についてたくさん教えてくれました。例えば、「生きることに疲れてしまった」と周りの人がさきやくと、「人生始まったばかり。決めちゃうのはすごく寂しいことだと思う。ゆっくりでいいの。のんびり幸せを探していこう。自分が自分に誰よりも優しく。」と言っていました。そして、「生きる意味って何だろう」となったら、「特に意味とか見い出さないかな。あろうがなかろうが続く人生なんだし。その当たり前前に感謝して楽しむほかないよね。」と言っていました。

そんな経験の中で、私が大事にしている言葉が三つあります。一つ目は、自分の選択が正しいか不安になった時の、「どれが正しかったのか、じゃないな。私的に全部決まっています、その通りに進んでいるんだと。人生はハッピーエンドの映画」という言葉です。そして二つ目は、「あなたが誰かの都合よく動いても、誰かがあなたの生涯を養うわけでも、自給が出るわけでもないよ。」という言葉です。三つ目は、「運命はチャンスだったり、タイ

ミングだったりで増えるんだけど、何よりそれを運命と認識できるかが大事であると思う。最初はどんなに強い縁も、想いが弱ければ薄れていくだろうし、逆にそんなものなくても互いに想いが強ければ結ばれる」という言葉です。私はそんな言葉から大切なことをたくさん教えてもらいました。

私はそれらの言葉から、「なるべくシンプルに、素直に、すべてにリスペクトを持つこと。」
「人一倍固定概念に囚われたくないと思って生きること」を学びました。おばあちゃんになっても、センスのいい若者のトレンドを追える、時代の変化を怖がらず受け入れて、楽しめる人でいたい。私はそう思っています。常に今の自分を大好きでいられますように。